

事業区分 令和3年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

事業名 早寝早起き朝ごはんキャラバンウィーク

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[企画・運営] 熊本「体験の風をおこそう」運動実行委員会

[後催] 熊本県教育委員会

[期日] 令和3年12月13日(月)～23日(木)

[活動場所] 参加希望団体の体育館等

[参加者] 10会場で513名

12月13日	小国町立黒川保育園(0歳～5歳)	25名
12月14日	南阿蘇村立久木野小学校(1～2年生)	51名
12月16日	阿蘇市山田保育園(1～6歳)	48名
12月17日	南阿蘇村立白水小学校(1～2年生)	62名
12月20日	阿蘇中央幼稚園(年少～年長)	114名
12月21日	南阿蘇村立南阿蘇西小学校(1年生)	23名
12月21日	西原村立河原小学校(1～3年生)	41名
12月22日	阿蘇市乙姫保育園(3歳～6歳)	48名
12月23日	内牧保育園(3歳～6歳)	73名
12月23日	高森町立高森東学園義務教育学校(1～4年生)	28名

1 趣旨

早寝早起き朝ごはんが健康的な生活及び教育の質を向上させるために必要不可欠であることを理解するとともに、基本的な生活習慣の確立に向けた普及啓発活動として実施する。また本事業をとおして、交流の家が身近な存在として、誰でも利用できる施設であることを知ってもらう機会とする。

2 目標

- ① 参加者の8割が活動の中で、早寝早起きが必要なことであると「とても理解できた」と感じる。
- ② 参加者の8割が活動の中で、朝ごはんが必要なことであると「とても理解できた」と感じる。
- ③ 参加者の8割が交流の家に家族でも利用ができること、定期的にイベントを行っていることを理解する。

3 事業展開

(1) プログラム

小学校・保育園等を対象として、着ぐるみを使ったパフォーマンスを当所職員で実施。早寝早起き朝ごはんの大切さを30分程度の演目でアピールした。

- ・早寝早起き朝ごはんの説明
- ・着ぐるみ登場
- ・〇×クイズ(早寝早起き朝ごはんに関するもの)
- ・「生活習慣リズム感(香川県教委)」の曲に合わせて運動
- ・着ぐるみ退場
- ・交流の家の利用案内
- ・終わりの挨拶

(2) 活動の様子



【〇×クイズ】



【ダンス】



【〇×クイズ】



【ダンス】

4 成果と課題

(1) 成果

○参加者の9割が早寝早起き朝ごはんが大切であるということを『とても理解できた』と回答。

○引率者の9割が本事業に対して『満足』と回答。

○交流の家を新たに知ってもらうという観点でSNS案内のチラシ作成を行い、参加者に対して配付した結果Instagramの登録者数が7名増えた。

○熊本県において実施されている「くまもと早ね・早おきいきいきウィーク」と連携し、熊本県教育委員会や阿蘇市教育事務所と事前に情報共有を行いながら、効果的に実施することができた。

(2) 課題

●参加希望団体が増えた場合に日程調整が難航することが考えられる。そのため、現在の2週間から、次年度は3週間に期間を延長することを検討する必要がある。

●熊本県も「くまもと早ね・早おきいきいきウィーク」(R3年度は9月1~15日)という取り組みをおこなっているため、熊本県との連携をとる場合は早めにとる必要がある。